

令和4年8月23日

「せきラリー」の活動報告書

3年 田谷ひなの

この度、関市の若者支援制度を利用し、4月24日～5月31日の期間に関市観光協会主催のもと、せきラリー（関市内の飲食店、観光地等を巡るスタンプラリーイベント）を開催しました。

<イベント企画のきっかけ>

私は、二年次に洞戸キウイに関するFRH活動への取り組み、また関市内の高校生によるまちづくり団体「VSプロジェクト」に参加をしてきました。それらの活動を通し、自分の知らなかった関市の魅力を発見し、「まちづくりに関わりたい!」「関市をさらに良くしたい!」と思うようになりました。関市の魅力をまずは、市民の方々に伝えるべくこのイベントを企画しました。

<せきラリーとは?>

- ① 市内の飲食店4か所、観光地2か所のスタンプ設置場所から3種類のスタンプを探すこと
 - ② 本町商店街のビル内部にある関鍛冶の壁画を見つけること
- を達成すると飲食店割引券がもらえるというイベント。
- ・スタート地点はせきてらす、ゴール地点は古民家あいせきと固定しました



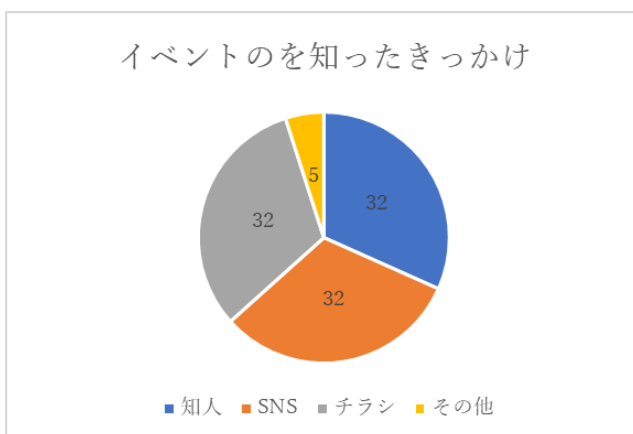
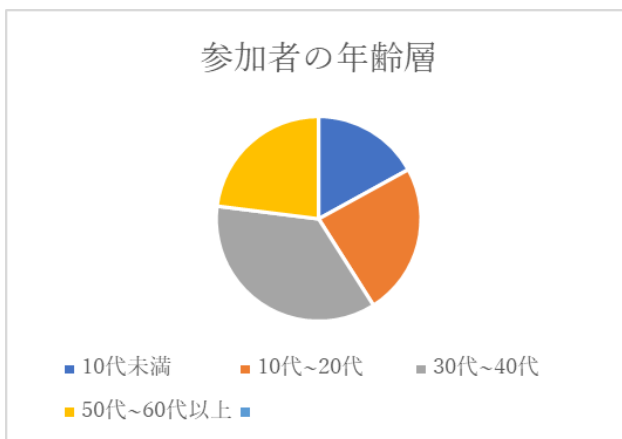
このイベントを通して、
新型コロナウイルスの拡大によって影響を受けている市内のお店を応援すること、
関市の新たな観光施設などを知ってもらい利用を増やすこと、
コロナ禍で少なくなってしまった家族で楽しく過ごす時間を作ることを目標としました。
また、商店街に隠れている関鍛冶の壁画を広めるきっかけにしたいと考えました。

<協力店、観光地等>

和菓子処関市虎屋・やまなみ・たけや・カフェ茶房宗休
せきてらす・古民家あいせき・本町BASE・関善光寺

<アンケート結果より> ※スタンプラリー達成者に回答していただきました。

- ・ 関市内外の幅広い世代から約 90 組の方が参加してくださりました。
その中の達成者は 30 組でした。
スタンプラリーということで特にご家族での参加が多かった。
- ・ 10 代未満～40 代が約 8 割を占め、全体的にみると高齢の方の参加が少なかった。
- ・ 関市内の方の参加が多数でしたが、2 名の方がスタンプラリーを目的に関市を訪れた。
- ・ 参加者全員がせきラリーに対して満足以上の評価をくださった。



<感想より>

- ・ 歩くのは疲れたが、関市の美味しいお店が知れて良かった。
- ・ なかなか入ったことがないビルに入り、子供と町を歩いて楽しかった。
- ・ 関市外の参加者からでまた関市に来たいと思った。
- ・ 壁画を初めて知った。
- ・ 関市に住んでいるが、本町にいろいろなお店があることを知れた。
- ・ 健康によく、達成感も味わえた。
- ・ かわいいスタンプで集めるのが楽しかった。
- ・ 子供でも簡単に参加でき、またこのような楽しい企画を期待しています。

<感想・学んだこと等>

私は、このイベント企画を通して今まで経験したことがないことに取り組み、自分自身を高め、高校生活において貴重な思い出を一つ作ることができました。

イベントを企画するという事は思っていた以上に、本当に大変なことでした。私にとって、一番大変と感じたことは、協力をお願いしたい店等にアポを取り、その後交渉をするということです。アポの電話をするだけでもとても緊張します。お店に伺う前に、資料を作り何度も交渉の練習をしました。交渉当日、お店に伺うとどの方も温かく接して下さり関市民の優しさに心を救われました。交渉をする上で私が特に大切にすることは、目を見て分かりやすく自分の思いを伝えるということです。そうすると、相手の方は色々と質問や助言をくださります。大人の方の考えは、視野が広く私では考えられない貴重なものでした。イベント開催日までに何度もお店等に行き、回数を重ねるにつれ大人の方と話すために必要な力を身につけました。

また、私はこのイベントを通して商店街に秘められた関鍛冶の壁画を広めたいと考えていました。私が聞いた中でこの存在を知っていたのはごくわずかでした。参加者からは、「初めて知った!」「すごい!」との感想がありました。そして、最近この壁画を夏まつりで使用したいとお話をお聞きし、せきラーが他のイベントへとつながり新たな関の魅力となるもの構築できるのではないかとイベント開催をしたやりがいを感じました。

さらに、イベント開催期間中、子供が楽しくスタンプを集めながら本町を探検したり、大人の方たちも楽しんでいたりする姿を見かけました。それを見たとき、イベントを開催してよかったと強く感じました。参加者に声をかけた時に「企画してくれてありがとう」、「関のこのお店知れてよかった」などの言葉をかけてもらい、私の目標である「関の新たな魅力を発見してもらう」ということが達成できていることに大きなやりがいを感じました。

このイベント開催により、さらに関市のことが好きになり、また、まちづくりの楽しさを感じました。私は今後大学で、まちづくりに必要な知識を学びフィールドワークを通して多くの観点からまちづくり活動を学び、そして最終的には関市でまちづくりをしたいとおもっています。今回のイベント企画、開催は自分にとって大きな力となりました。

関わってくださった多くの方々、本当にありがとうございました。